

令和 6 年度 事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

I. 事業活動

1. 概 況

令和 6 年度の世界経済は、米国で、景気後退の懸念から金融政策の転換があり金利引き下げがある一方、日本では、日銀の利上げの動きがあり一時は円高が進むこととなりました。また本年 1 月には米国でトランプ新政権が誕生し、新たな高関税政策の導入により、近年の世界的自由貿易体制と逆行する動きが鮮明になり、株式市場や為替相場などに大きな混乱をもたらし、今後の世界経済や金融市場は大きな不安を抱える状況となりました。

このような状況下、今年度は、当法人の主要な収入源である基本財産の株式配当金は、156,933 千円で前年度比 17,057 千円の大幅な増加となりました。また特定資産の運用では、日米金融政策の違いから為替が円高傾向を示したことから一部の外貨建て債券及び海外株式の投資信託を売却し為替リスクを軽減するとともに、当該資金を含め、国内金利の上昇もあり、主に短期の円定期預金での運用に軸足を移した結果、運用益は前年度比減少しました。

次に支出面では、経常費用が 76,875 千円で、このうち事業費は、奨学生 60 名に対する奨学金の支給額が 45,360 千円で、月額支給額の増額や在籍生の増加により前年度比 10,860 千円増加しました。また補導費の支出は 9,219 千円で、会誌の発行を行ったほか、創立 50 周年の奨学生の集いも例年より多くの参加者を迎え、さらに新奨学生歓迎会及び卒業生歓送会などの交流事業でも参加者の増加や会場費用の増加もあり前年度を上回るようになりました。一方管理費は前年度比若干の増加に留まり、経常費用の総額としては、前年度を 16,796 千円上回りました。

また資産面では、基本財産株式の時価が前年に比較し大幅に低下したことから評価損を 685 百万円計上した結果期末の正味財産残高は 4,733,688 千円と前年度比 602,385 千円減少しました。

2. 公益目的事業の実施状況

(1) 奨学金支給事業

① 奨学金の給付及び奨学生の状況把握

奨学金の給付は、毎月各奨学生の口座に、振込給付しました。また奨学生の学業及び生活状況等の確認は WEB で報告メールを受けるとともにオンラインで面談を行ない、必要により助言・指導を行いました。

	給付人数	給付額（年額）	うち新奨学生	1人当たり給付額（月額）
大学生	47名	32,880千円	16名	6万円
大学院生	13名	12,480千円	-	8万円
合計	60名	45,360千円		

(注) 1. 1人当たり給付額は、大学生及び大学院生ともに令和6年4月より1万円増額しております。

2. 給付人数には、留学及び休学後に奨学金を再開した学生を含み、留年の学生を除いております。

② 奨学生の採用

新奨学生の採用につきましては、毎年4月～5月に実績のある大学に推薦を依頼し、令和6年度は各大学より18名の学生の推薦があり、6月開催の奨学生選考委員会による選考の結果、16名の学生を奨学生として新たに採用しました。

また大学院生につきましては、奨学金継続を希望する学生6名全員が再選考の上、継続が決定しました。

	新採用大学生	継続大学院生	人数計
採用人数	16名	6名	22名

(注) 令和6年度採用大学生の在籍大学は、次の通りです。

国立大学：京都大学、信州大学、筑波大学、東京大学、東京科学大学、
東北大学、一橋大学、山梨大学

私立大学：青山学院大学、慶應義塾大学、工学院大学、上智大学、中央大学、
東京理科大学、早稲田大学

(2) 事業計画に基づく交流事業

① 第1回奨学金給付式及び新奨学生歓迎会

令和6年度は16名の新奨学生を迎え、事務所において第1回給付式を行いました。給付式後、在籍生も含めバス・ツアーを行い、青梅市の藍染工房で藍染めの体験をしました。その後は都心へ移動、東京国立近代美術館を見学し、次いで中国料理店での懇親の夕食会を行い和やかに交流しました。

② 北澤育英会会誌の発行

北澤育英会会誌第49号を令和6年11月に発行しました。例年通り新奨学生を含む在籍生全員及び令和5年度卒業生の寄稿に加え、創立50周年の特集として、社会で活躍している先輩卒業生の近況の寄稿を掲載するとともに、理事・選考委員にご寄稿を頂きました。令和6年度採用奨学生の第1回給付式及びその後のバス・ツアー・懇親会の様子、令和5年度の奨学生の集いの様子や卒業生を送る歓送会の様子について紹介しました。また本誌を奨学生及びその保護者、卒業奨学生、奨学生在籍校、交流のある育英団体さらに関係先等に送付し、当法人に対する理解を深めて頂けるよう努めました。

③ 「第49回奨学生の集い」開催

「第49回奨学生の集い」は、令和6年11月末に、創立50周年記念の集いとして、京王プラザホテルで約140名が参加し開催しました。起業経験のある卒業生による記念講演の後、交流会を開催し、全ての在籍奨学生及び社会で活躍している卒業奨学生、役員・評議員及び奨学生選考委員に加え他の奨学基金の海外からの留学生も参加し交流しました。ゲームや食事なども楽しみ、和やかに交流が出来たことで、大変好評でした。今回も3年生の幹事団が開催の準備、当日の運営を担当しました。

④ 「卒業生歓送会」開催

令和6年度の卒業奨学生を送る「卒業生歓送会」は、令和7年3月に、卒業生に加え在籍生も参加して、社会への門出を祝いました。卒業生12名中の10名を含む40名が参加し、育英会の思い出や今後の抱負などを語り和やかな会となりました。また全員が色紙に思いを書き込み、卒業生には記念品を贈呈しました。

II. 法人の状況に関する事項

1. 届出事項

届出年月日	届出事項（届出先）
令和6年6月28日	令和5年度の事業報告等の提出（内閣府）
令和6年7月16日	役員変更の届出（内閣府）
令和7年3月17日	令和7年度の事業計画書等の提出（内閣府）

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和6年6月3日	(決議事項) 1. 令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2. 令和6年度定時評議員会招集及び附議事項承認の件 3. 評議員候補者承認の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決 可決 可決
令和6年6月18日	(決議事項) 令和6年採用奨学生承認の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決

開催年月日	決議事項	結果
令和 7 年 3 月 14 日	(決議事項) 1. 「令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の事業計画書及び収支予算書等」案の承認の件 2. 基本財産等株式の議決権行使の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和 6 年 6 月 18 日	(報告事項) 令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）の事業報告 (決議事項) 1. 令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）の貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2. 評議員 2 名選任の件	可決 可決

(3) 奨学生選考委員会

開催年月日	内 容
令和 6 年 6 月 18 日	(審議事項) 1. 令和 6 年度の新奨学生選考の件 2. 令和 6 年度継続奨学生選考の件

3. 役員等に関する事項

(1) 役員等の状況

役 職	氏 名	就任年月日	報酬	勤務
代表理事・理事長	清 水 雄 輔	令和 5 年 6 月 15 日	定額報酬	常勤
常 務 理 事	薮 島 純 一 郎	令和 5 年 6 月 15 日	定額報酬	常勤
外 部 理 事	野 村 稔	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
外 部 理 事	小 杉 丈 夫	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
外 部 理 事	久 保 庭 啓 一 郎	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
外 部 理 事	岡 本 昂	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
外 部 監 事	上 野 紘 志	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
外 部 監 事	太 田 睦	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	岡 野 或 男	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	北 澤 一 男	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	金 子 ゆ か り	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	辰 野 守 彦	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	戸 矢 博 道	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	中 村 清 次	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	篠 田 紘 明	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	原 田 穰	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	橋 本 政 昭	令和 5 年 6 月 15 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	井 口 武 雄	令和 6 年 6 月 18 日	日当報酬	非常勤
評 議 員	加 藤 英 輔	令和 6 年 6 月 18 日	日当報酬	非常勤
奨学生選考委員	尾 崎 洋 二	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤
奨学生選考委員	佐 藤 次 郎	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤
奨学生選考委員	須 賀 恭 子	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤
奨学生選考委員	八 木 尚 志	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤
奨学生選考委員	根 本 則 道	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤

役 職	氏 名	就任年月日	報酬	勤務
奨学生選考委員	上 村 芳 三	令和 5 年 5 月 30 日	日当報酬	非常勤

(2) 理事・監事及び評議員の員数及び報酬（奨学生選考委員の報酬を除く）

区 分	員 数	年間報酬額（円）
理 事	常 勤 2 名	7,200,000
	非 常 勤 4 名	200,464
監 事	非 常 勤 2 名	133,642
評 議 員	非 常 勤 11 名	116,935

(3) 報酬等の支給基準

区 分	年間報酬又は日当報酬の限度額
理 事	全員の各年度の総額：1200 万円
内 常 勤 理 事	1 名の月額報酬額：30 万円～50 万円
監 事	会議出席：1 回につき 5 万円
評 議 員	全員の各年度の報酬総額：200 万円

(4) 職員数及び常勤職員数

職員数 (内常勤職員)	1 名	(1 名)
----------------	-----	--------

4. 運営体制の充実を図る取組

(1) ガバナンスに関する取組状況

① 外部役員の選任状況

理事 6 名中 4 名が外部理事である。

監事 2 名中 2 名が外部監事でともに公認会計士の資格を有する。

奨学生選考委員 6 名は元大学教授等の有識者である。

② 理事長は上場会社での代表取締役社長として事業経営及び組織運営に関する幅広い知見を有し、常務理事は上場会社での役員として管理・財務に関する知見を有する。また職員は公益法人会計の知識を有する。

③ 外部理事 4 名は、中堅企業経営者、大手法律事務所パートナー弁護士、国

内著名新聞社役員等を歴任、国内最大手銀行役員等を歴任とそれぞれが多くの経験を有するとともに、いずれも幅広い知見を有する。

- ④ 外部監事2名中1名は国内最大手監査法人の理事長を歴任、他の1名は上場会社での管理・財務担当役員を歴任し、それぞれが多くの経験を有するとともに共に公認会計士として幅広い知見を有する。

(2) 監事監査の実効性

監事は、必要により監事会を開催し決算等の内容を監査するとともに、常勤役員、職員及び顧問税理士より必要な聴取を行っている。

(3) 内部統制

- ① 稟議制度があり、理事会決議事項以外の重要な事項の承認手続きは稟議による。
- ② 顧問税理士による会計等の監査を定期的実施している。

5. 事業活動に関する重要な事項

- (1) 寄付を受けた財産の額、金融資産の運用収入の額、資産、負債及び期末純資産の額などの財務情報等の開示
公告に代えホームページで開示している。
- (2) 他の団体の意思決定に関与することができる株式その他の認定法施行規則第6条に定める財産についての保有の有無
上場株式でその保有割合が5%を超える株式は、保有していない。
- (3) 関連当事者との取引に関する事項及びその明細
該当事項はない。
- (4) 海外への送金の有無及びそれに関連するリスクの軽減策の有無
該当事項はない。

6. 許認可に関する事項

該当事項はない。

以上